

**R-18**  
SEMEKANON  
NAYUKI SAMANO  
BIKYAKUCYOKYO







セ  
キ  
カ  
シ

SEMEKANON  
NAYUKI SAMANO  
BIKYAKUCYOKYO

*Contents*

●名雪さま美脚調教 page 3

●しおりんのひみつ日記 page 20

描いた人: 全部りん









# 名雪さま 美脚びきやく ちようきよう調教



ダメだよ？

わたし、もっせつと  
祐二のいふと  
イジメたいんだから...

ただいま〜

お母さん〜  
今日の晩ご飯…

ガ  
キ  
ャ

お母さんからだ

えっと…  
「町内会の集まりに行ってきます。  
遅くなると思うので、  
夕ご飯は冷蔵庫の中にあるものを  
先に食べていてください。」  
だつて〜

！…そうだ

せつかぐだして、  
今日は「コトとこまぎる」が、  
「ついでとまぎる」



わたしと祐一の  
関係が始まってから  
もう数ヶ月……

最初は、ただ純粋に  
祐一を気持ちよくして  
あげたい、という思いでした

でも、その感情が、  
次第に別のものにかわって  
いったのです



なっ……名調っ……

せ……っ……せ……

あっ  
あっ……

ブルッ



うふっ なに〜?  
ちゃんと言わなきゃ  
わかんないよ、祐一?



自分のなかで、今まで  
気付いていなかった、  
その気持ち——

いつも偉そうな態度をとる  
祐一が、わたしに対して  
泣きそうな表情で懇願する――  
子供の頃から常に祐一にリード  
されてきたわたしは、その事に  
いいようのない充足感と高揚感を  
憶えたんです

それから後は、わたしと  
祐一の立場が逆転するのにも、  
さほど時間はかかりませんでした

わたしの言うことを聞かないと  
どうなるのか……  
徹底的にその身体に教え込んで  
やったんです

そして、今では――



ねえ 祐一  
わたしの靴下見て  
気付いたコトある？

ホラ 動かないで  
そのままっ！

え？ い…いや

はあ、

はあ、

わっ…  
わからない…です

ギョッ

うふふっ コレはねえ  
3日前から、おんなじ  
靴下なんだよ

祐一 わたしの足  
大好きだもんね〜  
だから、はき続けて  
あげたんだよ？

どう？ 嬉しいでしょ〜  
この足で祐一は  
どうして欲しいの？

なに？ ハッキリ言わないと  
してあげないよ〜！！

はあ

はあ、

イコでござ…

い…

はあ

らっ…

イかせて欲しいですっ…  
そ…その足でっ…その…

あはっ  
そんなにイキたいの？

仕方ないね…  
じゃあ寝っ転がって  
お願いしてみて？

どうなの？  
ほら言ってみて？

ほらほら〜 ちゃんとお願い  
出来ないといかせてあげないよ〜

むっ…むぐっ…！  
お…おねが ひっ…！  
イっ…いかせ…むぐぐ〜

あははっ♪ 女の子に  
顔面踏みつけられて  
お願いさせられて  
口惜しくないの？



ち●ちん  
こんなにして…



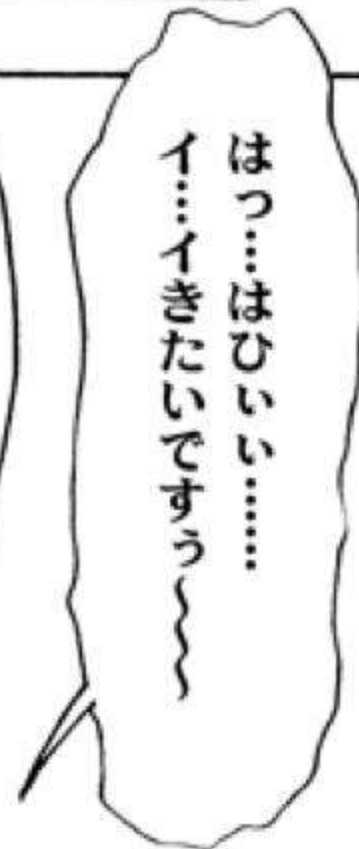
えいっ



学校でもイけなかった  
もんね〜  
もうたまらないよねっ



はっ…はひらら…  
イ…イきたいですう〜



んん〜  
どうしようかなあ…



おっ…お願いします…  
射精させて…ああっ…  
もう我慢できないですっ…



祐一の都合なんか関係  
ないのっ！決めるのは  
わたし、だよ？



じゃあ、わたしの  
言うコト ちゃんと  
聞ける〜？

はいっ… な…何でも  
聞きます…だからっ…!

うふっ それじゃね



後ろ、向いて？  
祐一〜



あ…あの…  
名詞「これは…?」



イキたいんでしょ?  
じゃあオナニーでも  
して見せてよ



で…でも  
これじゃあ手が…



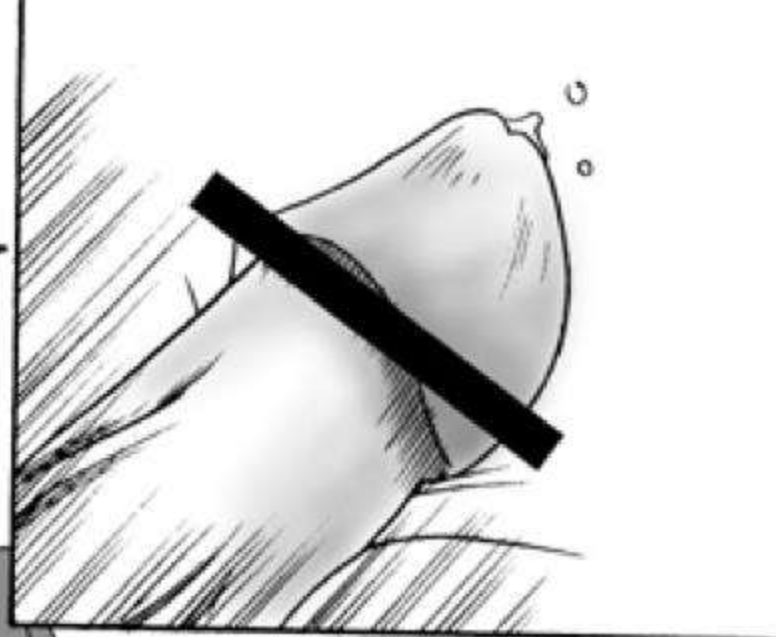
あのね、祐一がただ  
ち●ちんシゴいてるの  
見たって、わたし 何も  
楽しくないよ



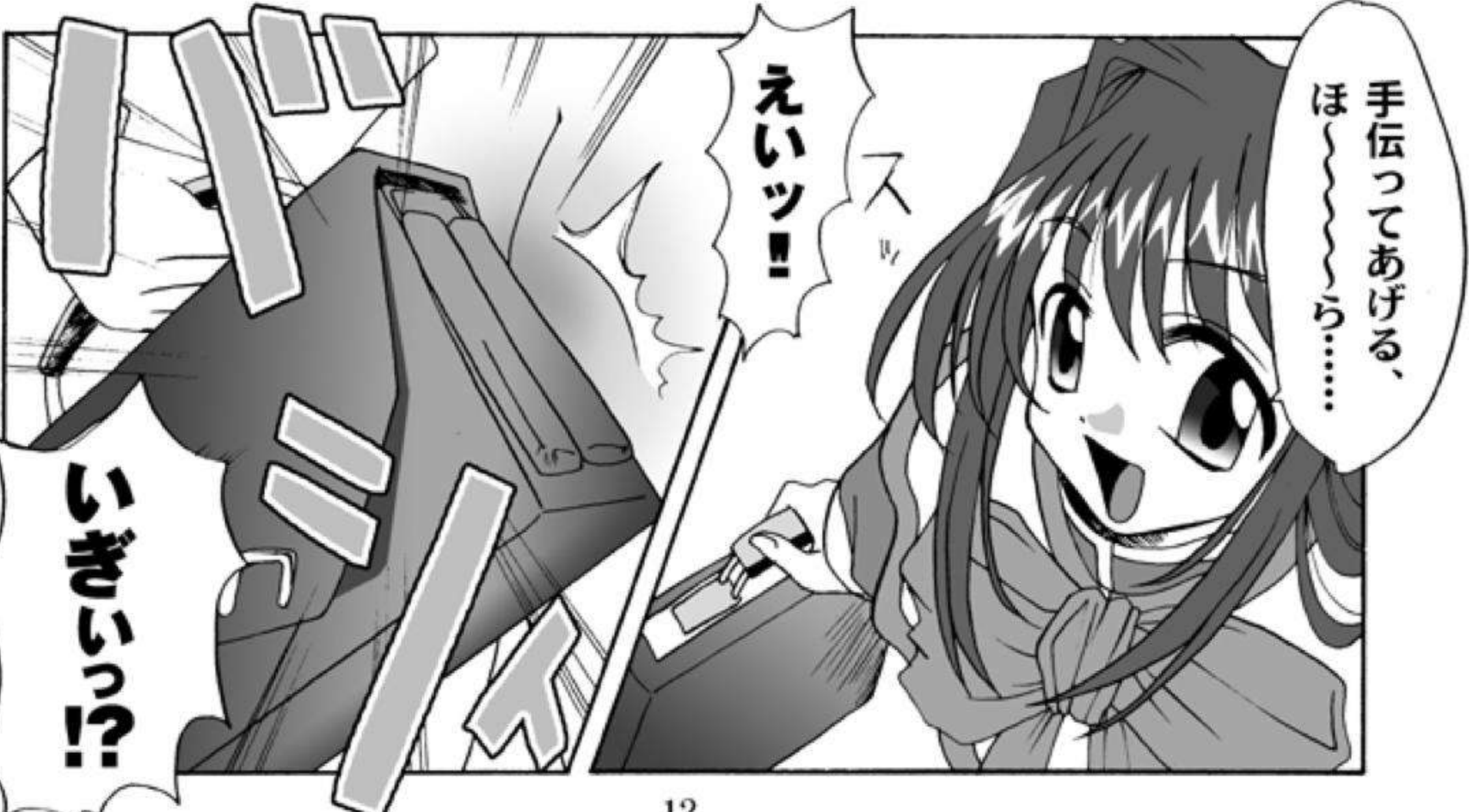
そこのソファでも  
何でも そのち●ちん  
こすりつけてするの!  
ホラ やって見せて?







あははっ♪  
必死にコシ振っちゃって  
かわいいよ〜 祐〜



スッ  
えいッ!!  
スッ





が  
あ  
っ  
!!!!

フ  
ッ  
ッ

ッ  
ッ  
ッ



でも祐一が悪いんだよ？  
勝手に射精しようとしたから…  
わかるよね、祐一？

あははっ そんなに  
効いた〜〜？



むっ…ぐうぐう

ズ  
ッ  
ッ  
ッ

わっ！ さっきまで  
あんなにブラブラしてた  
玉がこんなに上に  
あがつちやつてるよ〜

手加減してコレじゃあ、  
わたしが本気で蹴ったら  
祐一の玉、潰れちゃうね〜

ん〜 なんだか蹴り潰したく  
なってきたやつた、この金玉〜

ねえ 祐一、  
いいでしょ潰して？

ぐいぐい  
ぐいぐい  
ぐいぐい

う……うっ……  
ぐすっ……

ひっ……  
やっ……やめ……！

だめ

お……お願いっ……  
たっ 助け……



だいじょぶだよ  
ちゃんと片方だけに  
してあげるから

ほら、わたしのハダカ見るの  
久しぶりでしょ？特別に  
見せてあげるから覚悟して……

潰されちゃいなさい

ひっ！！

ギョ

じゃ、すみません。

ぎゃっ!!

アッ カッ

あははっ 祐一のアソコが  
おびえてビクビクしてるの、  
足の裏から伝わってくるよ!

カッ

どうっ? 祐一、女の子に股間を  
ガンガン蹴られる気持ちは〜!!

もうちよっと力を入れたら  
この金玉、グチャグチャに  
なっちゃうんだよ!?

ッ

カッ

がああああああ〜!!  
つつ…潰れるっ!!  
潰れるうっうっう〜!!

いい表情だよ〜  
祐一〜ほらほらほら

ガッ カッ


あああああああ  
あああ

イけっ! イッちやえ  
この変態男〜ッ!!

アッ








あゝあ…こんなに  
射精しちゃって…


ホント祐一って…

あれ？  
— 気絶しちゃってるよ！



ふふっ、本当に  
潰されたと  
思ったんだね…

— まだだよ



7年間、ずっと  
ガマンしてたんだから…

これからたっぷり、  
時間をかけて…だよ？





しおん<sup>の</sup>ひみつ日記



● 100

今日は、夜の学校を祐一さんたち  
 調教してあげました。  
 まだ外は寒いけど、うちの夜を  
 祐一さんはハタカにしてました。  
 まさは、お散歩。

お外で調教する事があったら、  
 おちんちんを組むのよ。  
 巻き戻して、おちんちんを  
 連れ回してあげよう……ん  
 調こたから、んも染こた。  
 うちの夜を調教する一冊の  
 手紙……たつたのよ、祐一さん、  
 半分も染こたのよ

「調こたのよ」んも染こたのよ。  
 おちんちんを組むのよ。  
 ちんちんを染こたのよ。  
 調こたのよ……んも染こたのよ。  
 「おちんちんを染こたのよ」  
 おちんちんを染こたのよ。  
 ちんちんを染こたのよ。  
 おちんちんを染こたのよ。  
 祐一さん、おちんちんを染こたのよ。  
 調こたのよ、おちんちんを染こたのよ。  
 必死に調こたのよ、んも染こたのよ。  
 ちんちんを染こたのよ、おちんちんを染こたのよ。  
 染こたのよ、おちんちんを染こたのよ。



あんまり痛がるので、お散歩はもう許してあげることだ。

そのかわり、校舎の屋根からぶら下がっているつららも

一本持つてくるように命令しました。

祐一さんは不思議そうな顔をして持つてきました。私

「回つた端っこをなつてお尻を上げこつて言うこと、どうやく回ちされるのが

理解したみたいですよ。おきるおきる地面に這いつくはつて、私の行動を

うかがっています。私は一気にひくひくしてる祐一さんのお尻の

穴に、つららもつ干しみました。「全部溶けるまで、やめませうから。

ほら、頑張って溶かしてださいね」おなかが冷えちゃったのが、私が

つららも深くさし込む度に、祐一さんのおちんちんからは

おしっこが流れ出ています。つびぶつ、ちゅちゅつ。

つびぶつ、ちゅちゅつ。

そのリズムが染みこんで、かないの時期、お尻の穴がふやけるまでぬし続けちゃいました。









イムガイズ  
**M-Size**